

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～29℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の38%（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり10kgの水揚げで、前週の16%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり43kgの水揚げで、前週の55%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり907kgの水揚げで、前週の54%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり25kgの水揚げで、前週の3.1倍（前年を下回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり42kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり342kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり181kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/24～8/30の7日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、ロシア海域に出域、大和堆周辺に移動。赤イカは引き続き北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）では6日延92隻、総計8,489箱、1航海最高406箱、平均92.3箱。スルメイカ（20～30入）6,263箱、ケンサキイカ（2～4立）2,226箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>